

愛する町松江

藺口 頼之

最近、感動した話を皆様には是非、知っていただきたく投稿いたしました。

私は一昨年転勤族を対象とした「松江観光大使」に任命され、出張等で県外に出る機会には商工会議所より支給された「観光大使」の名刺と共に松江の見所、温かい松江の人なり等体験した素晴らしさ、心地よさをPRしています。

一月程前でした。川崎に住む姉から電話がありました。

「ボーイスカウトの父兄の仲間で松江の奥谷町出身のIさんは弟さんが大変松江を気に入っていることや【観光大使制度】について非常に喜んでおられます。Iさんの実家は元旧制松江高校の官舎（現奥谷町に荒廃しかかった洋館の建物があります）のはす向かいにあり、松江=小泉八雲の強いイメージですが八雲の松江入りから35年後、大正14年に旧制松江高校に着任、昭和14年まで教壇に立ったドイツ語教師カルシュ博士一家とご両親とが交流があったとのことで、博士についてしていますか？」

「たしか山陰中央新報にそれらしい記事が出た様な記憶がある」との返答をしたら

「Iさんのお知り合いで東京医科歯科大学教授の若松秀俊さんという方が博士と旧制松江高校生徒との交流を描いた小説「湖畔の夕映え」を上梓し、東急文化講演会の講師候補としてどうか」

こんな内容の電話でした。「東急文化講演会」とは山陰地区の東急系企業が地域にお役に立てる活動の一環として毎年5月頃に著名な方を招いてここ東急インで開催しています。私は若松教授という方は松江出身で郷土愛に駆られて上梓されたのかと思い、今井書店の「郷土の本コーナー」でそれを求めました。教授は福島県のご出身で松江とは何の所縁も無い方でドイツ出張の際に初老の博士の次女との出会いが契機となり、松江でも限られた人以外に誰も興味を持たない、博士と松江の人々との交流を「是非松江の人々に知ってもらいたい、その足跡を残したい」との教授の熱き思いに私は大変感動いたしました。「東急文化講演会」の講師については残念ながら今年の候補は既に決定し、Iさんのお申し出には誠に残念ですがお役に立てませんでした。松江で大変お世話になり「観光大使」に任命していただいた私に出来ますことは「県外」の方へのPRと共に「地元の皆様」へのアピールでこの事実を伝え、「湖畔の夕映え」を多くの方に読んでいただき、教授の資料館整備の計画に少しでもお役に立つことです。博士の着任時に少女であったお子様達は今、初老の齢を迎える程の時を重ねましたが松江への思いが強く、深く、深く松江を愛されておられるそうです。

最愛の種を播きましょう



MATSUE SOUTH
2003.2 No.2024
ROTARY CLUB



R1会員 ピチャイ・ラタクル(タイ) 第2000地区ガバナー 武田隆也(論議部RC) グラブ会長 松崎健二 幹事 渡部正行

2月 世界理解月間

第2024回例会 平成15年2月10日(月)

◎ 本日の例会プログラム

「上半期活動報告」

奉仕部門各担当理事より報告

◎ 次回 平成15年2月17日(月)の
例会プログラム予定

「愛と余裕」

※山奨学生 王 欣氏

・四つのテスト唱和

1月20日(日)の補正 メイクアップ 14名

出席補正率 100%

前回(平成15年2月3日(月))

第2023回) 例会記録

・例会決定例選事会

・国歌斉唱

・2月度各種お祝い

・ロータリーソング 「奉仕の理想」

・会員数 70名

・例会欠席者 16名(内出席免除会員2名)

出席率 79.41%

・ビジター 3名

(出雲南RC) 梅田 俊朗

(松江RC) 今井 直樹

(松江L&JRC) 古藤 定治

・スピーチ 「ゼネコンよもやま話」

鹿島建設㈱ 島根営業所

所長 岩佐 好雄氏

・配布書類 ・通報No.2023

・2月例会出席表

・ガバナー月信

・ロータリーの友2月号

本日のメニュー【和食】

○お通り(トンボマグロの山かけ)

○揚物(カニの甲羅揚げ)

○温物(鯖とろろ蒸し)

○焼物(焼き豆腐の田楽焼)

○お吸物(あさり汁)

○フルーツ(リンゴ)

○御飯、漬物